

令和7年3月13日(木) 14:00～
於 会議室

1. 委員の紹介

2. 学校より

(1) 学校長挨拶

学校運営協議会は、外部からご意見をいただきたく開催している。
学校評価報告書について、現時点の学校をどのようにとらえたかいろいろなご意見を賜りたい。

今日は卒業式だった学校全体で祝う気持ちがよく出ていた。

(2) 令和6年度学校評価報告書について

・研究開発Gより

学習活動において探究が軸になっているので、職員研修についても探究の要素を取り入れた。特別土曜講座などの校外学習を積極的に取り入れる。生徒間の縦のつながり、他校とのつながりを大切にする。特別土曜講座の際には、家庭でも話題にしてほしい。

英検準2級相当の力を持つ後期生は100%。英検等の資格取得については、引き続き保護者への周知を図っていきたい。

SSS振り返りを成果発表会と終業式の前に行う。

・生徒会Gより

日常生活のルールについて、評議員主導で周知徹底を図った。前期生は、朝会等の集会で評議員が目標を説明した。初めてアンケートを行い、目標の達成状況のフィードバックを行ったが、8割以上の生徒が良好な取り組みができたと回答した。後期生でも継続して取り組みたい。

・生徒支援G

心理的安全、物理的安全を含む「安全教育」を行った。心理的安全についてはカウンセリングやサポートドックを通して、物理的安全については交通事故防止等の啓発だが、前期生の登下校中の安全意識はなかなか改善されていない。安全について、後期生が前期生を指導するという案も考えている。何か起こってから対処するのではなく、平時から対応するようにしたい。

・キャリア支援G

資料②について、一橋大学の公募推薦について1名追加される。受験結果の報告について、全ての生徒が入力する訳ではないので登校日までは集約が難しい。フォームでの報告の方が報告のハードルは下がるようなので継続したい。8割ぐらいの生徒が、概ね進路実現ができたと回答した。何を持って進路実現と考えるのか、考える必要がある。進路の実現へ向かっていけるよう支援したい。

・総務G

地域との関連に取り組んだ。避難訓練では、雨のため起震車体験は中止となった。雨天の際どんな訓練ができるか検討する。

・企画G

県内の中等教育学校、若干志願者が減ってきている。学校説明会参加者も以前より少なくなっている。

・資料③時間外勤務について

令和5年度との比較では在校勤務時間について、上半期は平均時間が減った。80時間オーバーの職員も減った。下半期については、令和5年度に比べると若干増えている。80時間オーバーの職員は0となっている。年休の取得を推進する。

・教務G

声掛けを努めていたが、ヒヤリハットが4件あった。原因究明し、同じことを繰り返さないようにする。

<協議・質疑応答>

Q 6年次での英検準1級取得者15%は素晴らしい。学校として対策しているのか。

A 1～5年次までGTECを行い、自分の英語力の伸びを認識できる。授業等でもGTECや共通テスト対策を行い、日々授業で4技能を実践している。

Q 国公立大学を推奨しているのか。

A 広く、いろいろな教科を学ぶことになるので国公立大学を推奨することになる。

Q 卒業生が様々な進路に進んでいるのが良い。この大学にはこういう先生がいるから行きたい、という目的意識をもたせると良い。入学すると周囲に圧倒され、4年次ぐらいまで自分を発見できずにいる生徒がいるのではないか。自分はこういう人間なのでこういう進路に進むのだ、という軸を見つけさせると良い。自分のいいところを見つけさせながら、6年間の目標、将来を描いていけるよう指導してほしい。国公立大学は教授が退官されてもその研究が引き継がれ、伝統がある。進路実現ができたとは思わない場合でも、大学院に進むという方法もある。

A 本校の適性検査がある大学の教授の論文だったことがあった。興味があるなら、その大学で学ぶことができる。模擬試験などでも、興味を引く内容だったら、それをきっかけに学ぶことができる。進路講演会などでも情報を提供していきたい。

Q 何をもって進路実現と考えるのか。セルフアセスメント、つまり、自分を見つめる期間が必要だ。進路ガイダンス、モデルケース、卒業生の話等といったガイダンス的なものは行っているのか。自分の学校では卒業生を呼んで話してもらっている。卒業生だと身近に感じるので、是非実施していただきたい。

A 学校の歴史がまだ浅いので、社会に出た卒業生を呼んで、という取組はできていない。

Q 素晴らしい進学実績だと思う。総合型選抜が今後増えていくと思うが、学校の方針はどうか。

A 学校では、総合型選抜を支援する、ということは行っていない。本人の力で頑張ってもらっている。成果発表会等に出ていない生徒でも、日頃行っていたことを発表し合格した生徒もいる。校外でのコンテストに参加する生徒は増えている。外部での発表に出ると、自分は勉強で行こう、などと感じる生徒もいる。

Q 教育課程・学習指導について、誰がどうやって評価していくのか、手段が抜けているのではないか。教員が指導して、生徒がどう変わったか、誰がどうやって見直していくか。基準を定めて改善していくべきだができていないのではないか。

A 生徒による授業評価については、回答について教科で話し合ってもらっている。改善へとつなげていきたい。

Q 不登校に陥る生徒が多いようだ。復帰した生徒がどれぐらいいるのかが見えることが大切。生徒支援がうまくいっているかどうかをどうやってみるのか、を加えないと次年度も同じことの繰り返しになる。今年度と比べてどうするのか。スマホいじめはあるのか。年間の指導として、起こったからこうするではなく、この4月から、こうだったらこういう形で対応するという計画を立ててほしい。

A スマホいじめは前期生で少しあった。前年度の反省を踏まえ、対応していきたい。

Q 後期試験まで含めると、国公立大学合格者は60名以上行くのではないか。大学との接続、つまり深さと広さをどう確保するのか。近年はgeneralistの方が尊重される傾向にある。国公立大学を目指すモチベーションについて、どうやったら国公立大学型の勉強を進められるのか。

A 学びの広さと深さを本人が納得し、本人が自ら目指すようになるように指導していきたい。

Q 資料③について、80時間オーバーはいなくなったが、本当は45時間を超えてはいけない。今度は60、70時間を減らしていけるかが課題だ。無駄な仕事を行っていないか。先生方は生徒に丁寧に指導していると思うが、労力の割に成果があるのか。何を削るかを検討すべきだ。

A 業務のスクラップ提案を職員にはお願いしている。デジタル採点、留守番電話機能が取り入れられた。教職員の方から無駄だと思う、と申告してもらった方がいい。各グループの引き継ぎシートを今年度はお願いしている。前の担当者が異動し、業務の進め方がわからないことがあった。仕事のやり方を共有する。昨年度の資料のデータは残っていても、その先生のやり方があり、困ることがあった。

Q サーバーの中に、誰が見てもわかる情報を残す必要があるのではないか。新しい担当者が業務のやり方を作り出すことになると負担になってしまう。これを見れば引き継ぎができるという資料を準備できないか。一人だけが知っている、という状態をなくすことが必要。

A 時間外在校等時間が45時間を越えている職員が神奈川県には大勢いる。いつ、誰が見てもわかるようマニュアルを整理し、業務の負担を減らす。

Q 学習指導の資料は共有できているのか。先生方のシラバスは共有されているのか。教材研究は先生方にとってはとても負担になっている。数学は情報の共通化が速いことが多い。一方、国語、社会は遅いことがある。先生方の貴重なノウハウを公開してほしい。

A シラバスはある。教材等はMicrosoft Teamsで共有できるようになっている。

<ご意見>

・息子の卒業式だった。親がここに行きなさい、ではなく、自分も息子も私立か国公立の狭間で悩んだが、本人に任せた。受けるのも進学するのも自分で決めた。親同士の情報で、ここが受かったけど、ここで学びたいから、もう一年という子もいるし、自分の決めた道に納得して決めた子もいる。コロナ禍であまり大学を見ることができなかったが、自分の決めた道を行こうとしている。

娘も、兄の受験を通して、また、学年で大学調べがあり、大学を身近に感じられたようだ。夢も何もなく、後期生になってどうしようと思っていたようだったのでタイムリーだった。自分で触れることが大切だと感じる。

- ・今年度、学校運営協議会には2回参加した。この4月に、コンプライアンス、寄附行為、理事と評議員の区別等について、私立学校法の改正があった。資料③の時間外勤務については、私立も同じような厳しい状況の中でやっている。何か一緒に取り組み、状況を改善できたらと思う。

- ・自分の学校も本日卒業式だった。私立なのでガバナンス改革を行っている。職員に残業させると経営効率が下がる。どうしたら余計な仕事を削れるか。公立はサービスの質を落とさないことをスタートにするので、仕事が増えてしまう。

- ・卒業おめでとうございます。生徒も立派に成長され、出発されたと思う。今年は生徒の姿を見ることができたのは文化部門の際だけだった。来年は、もっと生徒の姿を見たい。先生方本当にご苦労様でした。先生方にはお身体に気を付けてほしい。

<事務連絡>

- ・令和7年度の学校運営協議会は6～7月、11月、3月の3回を予定している。

後日来年度の委員の委嘱、また日程を伺わせていただく。

- ・学校評価報告書については、完成させて5月までに学校ホームページにあげたい。